

ノリ養殖環境速報 KH-29-9 (播磨灘)

平成 30 年 1 月 23 日 発行

※平成 29 年度から「珪藻赤潮情報」の名称を「ノリ養殖環境速報」に変更しています。

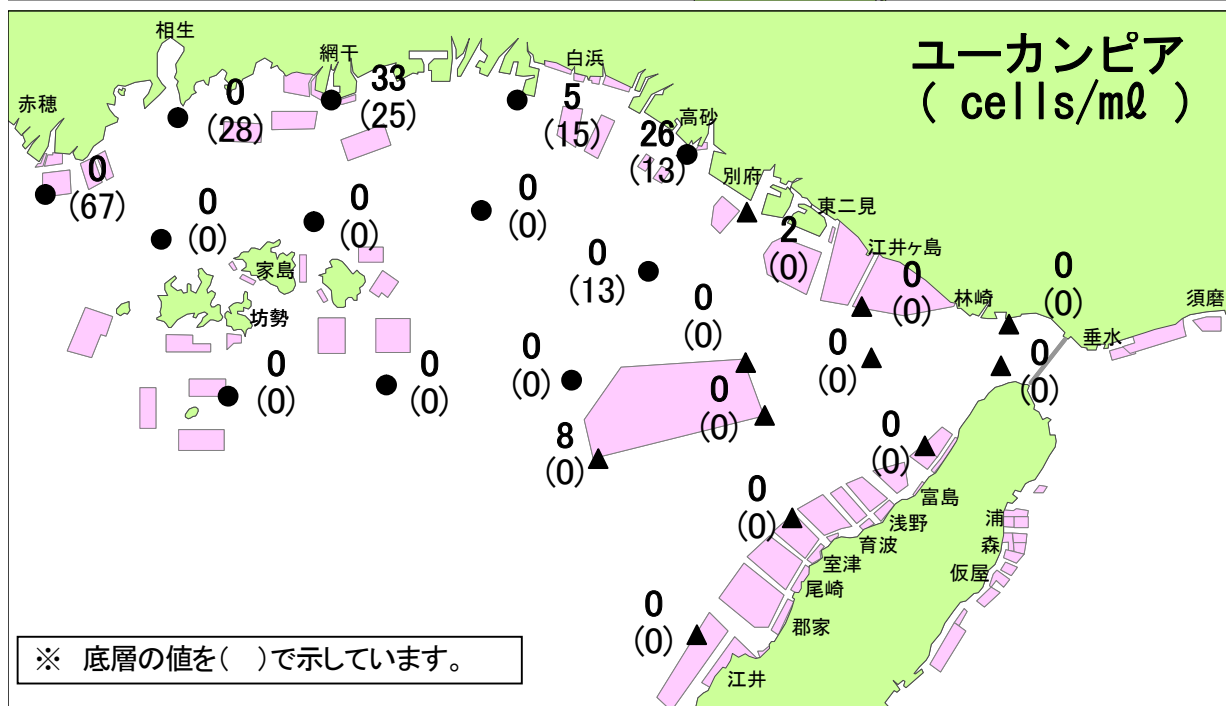
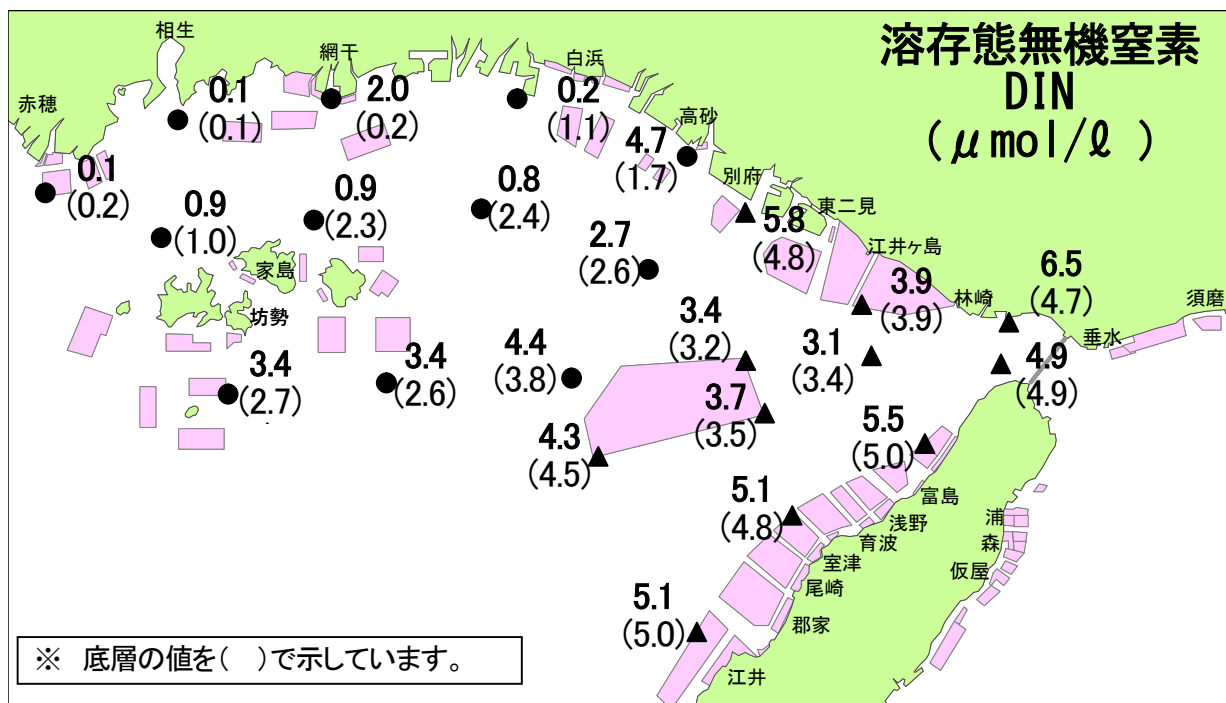
調査年月日：1 月 22 日

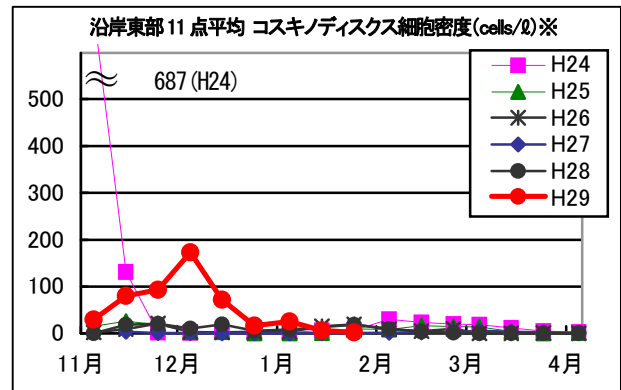
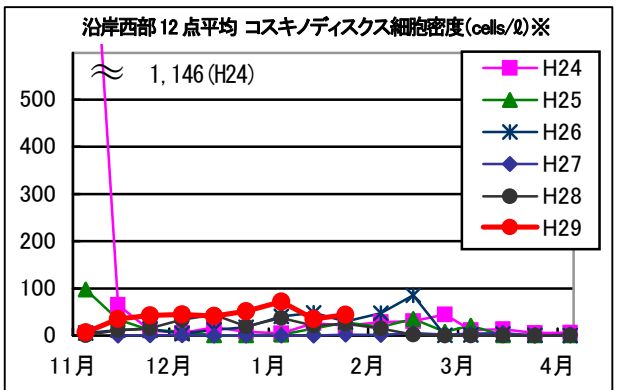
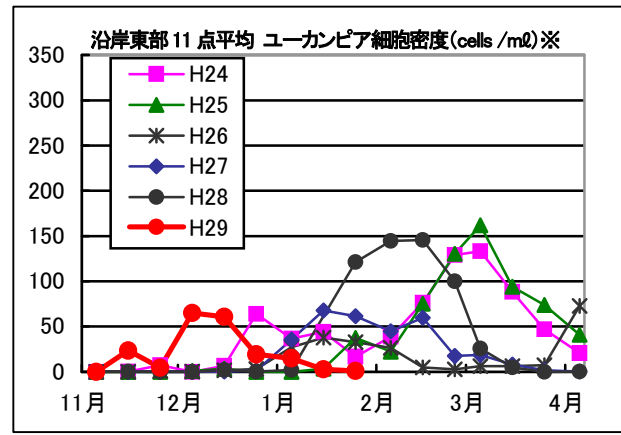
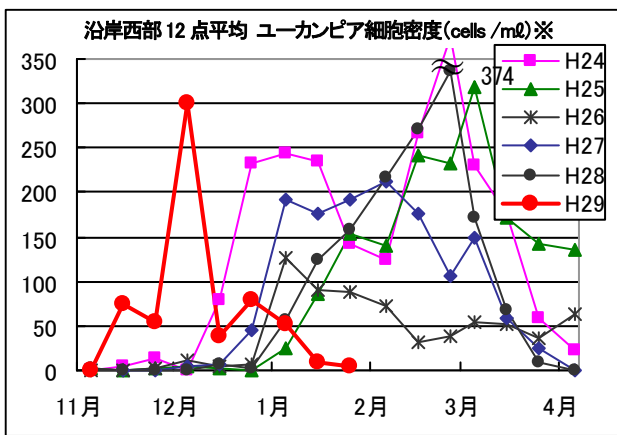
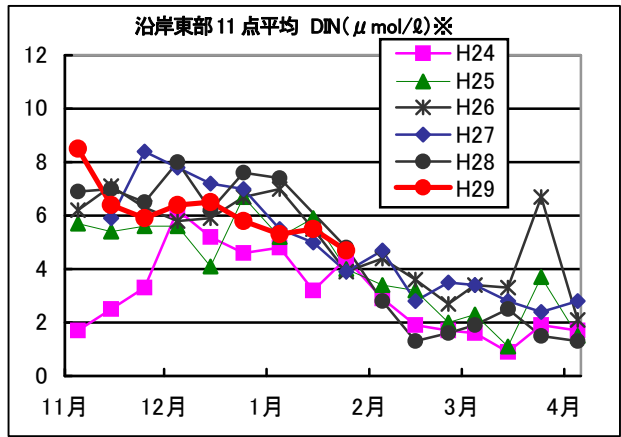
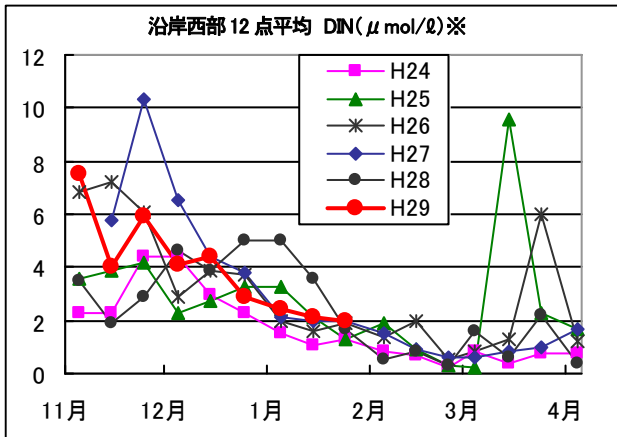
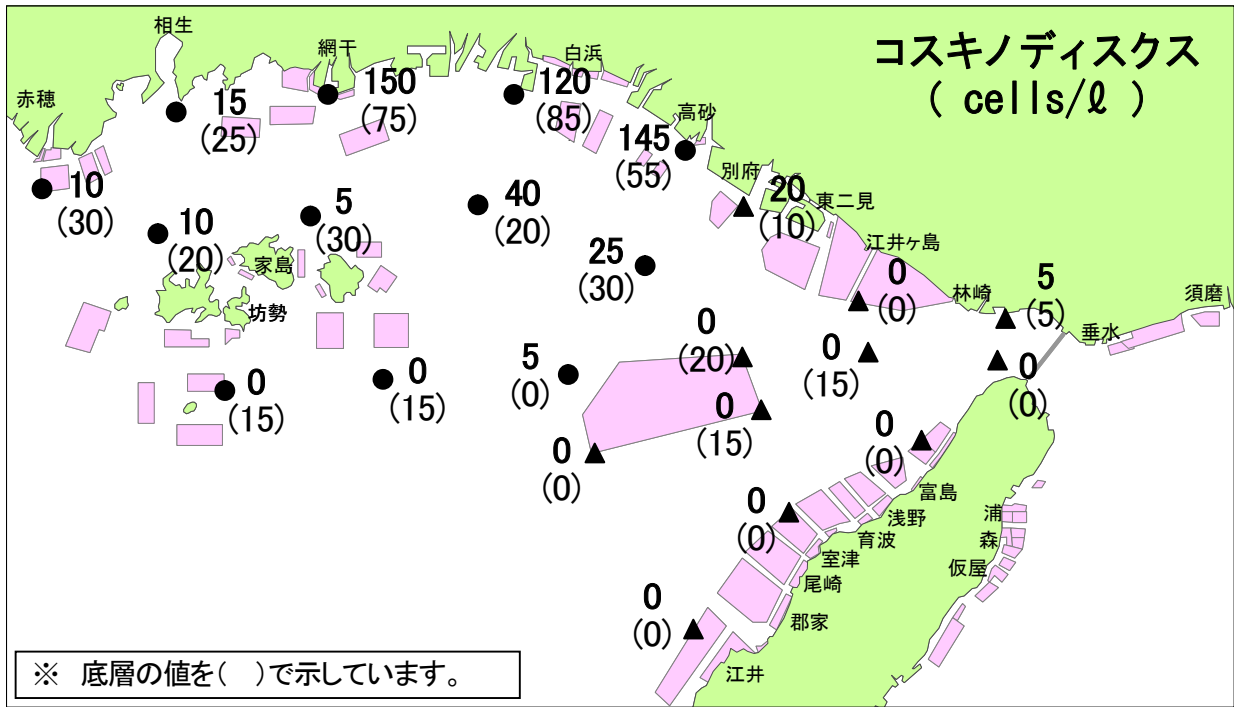
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘 (調査海域) の DIN 濃度は、沖合域や東部海域で概ね $3 \mu\text{mol/L}$ 以上、北西部沿岸域では $1 \mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。

大型珪藻のユーカンピアは北部沿岸域で確認されていますが、細胞数は多くありません。コスキノディスクスワイレシーは北部全域で確認されています。

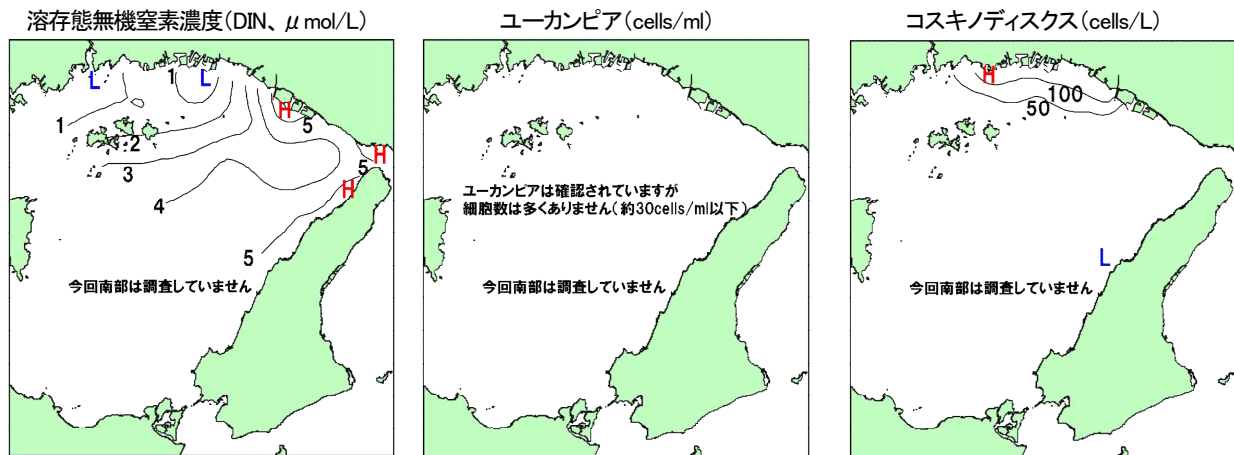
水温は、白浜以西では $8.4 \sim 9.6^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では $9.0 \sim 9.8^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $9.4 \sim 9.5^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $10.0 \sim 10.4^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $9.6 \sim 9.8^\circ\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年1月22日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部沿岸域(高砂以西)では、小型珪藻(キートセロス)が出現しています。ユーカンピアゾディアクスの出現数は前回とあまり変わりませんが、再び増加する可能性もありますのでご注意ください。コスキノディスクスワレイシーは、北部全域で確認されていますが、栄養塩濃度の動向に大きな影響を与える数ではありません。

播磨灘北西部沿岸域では、表層のDIN濃度が低く、 $1\mu\text{mol/L}$ を下回っている海域があります。沖合及び東部海域のDIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以上を維持しています。季節風に伴って西方海域から貧栄養水塊の流入が想定されますので、今後の栄養塩濃度変化には十分ご注意ください。

大阪管区气象台の週間天気予報では、降水量は平年並とされています。海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は、やや低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁1月23日10時36分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(1/24~1/30)の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪の降る日が多い見込みです。中部や南部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雪の降る所があるでしょう。なお、25日にかけては強い冬型の気圧配置となるため、北部を中心に大雪や荒れた天気、大しけとなる所がある見込みです。

最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より低く、期間のはじめはかなり低い日があるでしょう。

降水量は、平年並の見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(1/18)では、日生沿岸でDIN(表層)が $1.2\sim 1.3\mu\text{M}$ でした。大型珪藻のコスキノディスクスは $0\sim 10\text{cells/L}$ 、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成30年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
- ・次回は平成30年2月2日頃に発行予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>